

元気いっぱい 友だちいっぱい  
すすんで学ぼう 夢つくり

横浜市立美しが丘小学校 令和元年9月27日



# 美小通信 6

横浜市情報教育ネットワーク(YY ネット)上に本校のホームページがあります。  
URL : <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/utsukushigaoka/>

学校長 松瀬 歩  
青葉区美しが丘2丁目29  
電話(901)3408

## 秋を楽しむ

校長 松瀬 歩

正門の街路樹ハナミズキの葉が色づき始め、秋の訪れを感じさせます。

開校当時からあったであろう校庭のイチョウの下には、たくさんの銀杏が落ちています。それに気づいたのは昨年のことですが、そのとき、今まで自分で銀杏を収穫して食べたことがないことに気付きました。そして、好奇心から、臭いのを我慢して果肉を処理し、種子の部分を乾燥させ、食べてみました。普通に食べてもおいしい銀杏ですが、収穫からの手間もあり、お店で食べる銀杏より小ぶりながらおいしく感じました。自然の恵みをいただく、旬を味わうとはこういうことなんだろうなと感じました。

昨年の銀杏の味が忘れられず、今年も収穫しました。先日、銀杏を拾っていると、1年生の子ども近づいてきて

「わたしも手伝う。」

と言って、数名の子どもたちが銀杏拾いを手伝ってくれました。

「これ、くさいんだよね。」

「おならみたいなおいがするんだよね。」

「おならじゃなくて、うんちだよ。」

「でも、おうちの人がおいしいって言っていたよ。」

「サクランボみたいだね。」

と会話を楽しみながら、一緒に拾いました。

今年の銀杏は、子どもとの会話の楽しさも加わり昨年のものよりおいしく頂けそうです。

いよいよ秋本番。登校してくる子どもたちが持っている水槽の中には、近所の原っぱでつかまえたであろうショウリョウバッタやオンブバッタ、カマキリが入っており、自慢げに見せてくれます。子どもたちが、どんな秋を見つけ、秋を楽しむのか、子どもたちと一緒に秋を楽しみたいと思います。



### 美小自然ウォッチング



イチョウ・・・神奈川県の木に指定されています。イチョウは生きた化石と言われていて、恐竜が生きていた時代には存在していました。雄株・雌株が存在し、銀杏は雌株にしかつきません。一見、広葉樹のように見えますが、針葉樹の仲間です。種子の銀杏は食用として好まれますが、中毒を引き起こすこともあるので、食べすぎには注意が必要です(子どもは食べないほうが無難かもしれません)。